令和４年度　学校経営計画書

石川県立小松明峰高等学校
学 校 長　　桐　生　裕　三

１　教育目標

①　知性を磨き教養を高め、自分の持っている様々な能力を最大限に伸張できる人間の育成を図る。
②　自主自律の気概に富み、良識ある判断力を備え、人を思いやる心豊かな人間の育成を図る。
③　健康や体力の増進、文化の創造に積極的に取り組む活力ある人間の育成を図る。
④　自己と、その属する社会に誇りを持ち、安全で快適な環境づくりを進める人間の育成を図る。

２　中・長期的目標

（１）　学校の現状

①　アドバンストクラス・レギュラークラスによる個に応じた進路指導体制をとおして、進学校としての評価を保護者や地域社会から得ており、さらなる発展が期待されている。
②　生徒は素直で真面目であり、学業と部活動の両立をめざしている。また、運動部・文化部ともに対外的に高い評価を得ている。
③　コロナ禍の下、新しい生活様式の徹底をとおして、安全・安心な教育環境の向上に学校全体として取り組んでいる。

（２）　生徒に関する中・長期的目標

①　校訓“より高く　より豊かに　よりたくましく”を実践し、心身ともにバランスのとれた人材育成に努める。
②　幅広い教養と確かな学力を醸成し、自立した学習者を育成するとともに生徒の可能性を生かした進路実現を支援する。
③　部活動や生徒会活動などの特別活動を活性化し、自主自律の精神に基づく豊かな人間性の涵養に努める。
④　国際理解教育、環境教育、消費者教育等を通して社会の変化に応じてたくましく柔軟に対応できる力を養い、地域社会の中核となる人材を育成する。

（３）　教職員、学校組織等の望ましい在り方

①　教職員一人ひとりがワークライフバランスを保ちながら、組織的・効率的な業務の遂行に努め、生徒と向き合う時間を十分に確保する。
②　いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こりうるものであることを全職員が十分に認識し、生徒全員を対象とした未然防止の取り組みを行う。
③　保護者・地域との連携を深め、授業公開や地域の行事への参加に加え、様々なメディアを活用した「開かれた学校づくり」を推進する。

３　今年度の重点目標

（１）３年間を見通した指導計画のもと、主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業実践、家庭学習の充実を通して、生徒個々に応じた進路実現をめざす。また、GIGAスクール構想の推進を図り、生徒一人一台端末の効果的な活用をめざす。

（２）学業と部活動の両立をめざすとともに、急速に変化する社会に対応し、挑戦する勇気を持った、たくましく、しなやかな生徒の育成に努める。

（３）地域に根ざした活動や学校情報の発信を進めるとともに、学校業務の効率化を図り、保護者や地域に信頼され、必要とされる学校づくりを推進する。